

アサドは虐殺のシンボルだ

ジャーナリスト
西谷 文和

死者1万人以上、20万人以上の難民をだすシリアでいま何が起っているのか

シリアでは独裁政権打倒を叫ぶ民衆と、そのデモや集会を徹底的に武力弾圧するシリア軍の間で、事実上の内戦を繰り広げている。シリアのアサド政権は、デモ参加者を戦車砲、重機関砲で撃ち殺して、死者1万人以上、20万人以上もの人々が難民となっている(国連発表)。そんな実態を取材するため、私はシリアの隣国、レバノンへ飛んだ。

撲殺、拷問、誘拐、レイプ、ドラッグ

レバノンの首都ベイルートから車で北へ2時間、シリアとの国境の町トリポリへ。
トリポリというトリビアを思い浮かべる人が多いかもしれないが、ここレバノンにもトリポリが存在する。地中海貿易で栄えた9世紀、シドン、ティール、アラドスの3つの都市の交易センターがこの町に置かれた。3

つの町、つまりトリ(3つの)ポリス(町)が町の起源だ。
この歴史あるトリポリ



の町に、多数のシリア難民が逃げてきている。トリポリの貧困層居住地域には、その名も「シリア通り」がある。シリア難民がたくさん住んでいるから？
違う。この通りを境界線にして、山側が「親アサド派」「海側が「反アサド派」なのだ。今回のシリア紛争をキッカケにして、ここトリポリでも住民たちが激しく対立、今年に入ってロケット弾攻撃、銃撃戦が散発している。「シリア通り」沿いの自



シリア難民の少年たち。学校に行けないので、自動車修理工として働いていた

自動車修理工場。修理工として働く13、15歳の少年にカメラを向ける。
「シリアから逃げて来たの？
うん。
学校には行ってるの？
ううん。僕たちは学校に行ってはいけないんだって。
将来は何になりたいの？
兵士。
誰と戦うの？
アサドを殺したい。
少年たちは、なぜこれほどアサド政権を憎んでいるのか？
それは虐殺の悲惨さ、容赦ない拷問だ。
「激戦地ホームスから逃げ

てきました。シリア兵士は、赤ちゃんまで皆殺しにしています。生後3ヶ月の子どもを地面に叩きつけて殺すのを見ました。母親も殴り殺しました。夫が軍を離反して、自由シリア軍に入ったから、残された家族を見せしめのように殺していくのです」
人道支援物資を配るNGOのビルで出会った女性が、タオルで顔を隠しながら、英語で切々と訴えてくれた。なぜ顔を隠すかという点、ビデオカメラの前でアサドの犯罪を告発したことがバレると、シリアに残された

家族が殺されてしまうからだ。
「反アサド派」住宅に間借りしている30歳代の若者。やはりタオルで顔を巻いてから、証言する。
「あなたは秘密警察に捕まって拷問を受けたのですね？
「6ヶ月前、ホームスでデモをしていたら、秘密警察に拘束されました。そこで世界最悪の拷問を受けました」
「具体的には？
「両手に手錠をかけられ天井から吊るされました。その後殴る蹴るの拷問を受け、左耳は聴こえなくなり、左耳は2度、意識を失いました」
「拷問は殴る蹴るのだけでしたか？
「2リットル入りのコーラを、飲み飲めと無理矢理飲まされ、その後大量の水を。お腹がパンパンにふくらんだ後、ペニスをヒモで縛られました。その状態で放置されたので……」
膀胱がおかしくなりました。おしっこは垂

れ流し状態です。おむつをしていて。そして男性としての機能も奪われてしまった。
別の古ぼけたビルに、黒いアバヤを来た女性が。
「イドリブから逃げて来たの。町はシリア軍の空爆で破壊されてしまったわ。そして私の娘(22歳)が行方不明なの」
「えっ、娘さんが？
「娘はイドリブ大学の学生だった。シリア軍が大学に来て13人の女子大生をさらっていった。そして秘密警察から電話がかかってきて、『娘を返してほしかったら巨額の身代金を払え』と」
「払えなかったのですね。このままだと私の他の娘もさらわれると思つたの。身代金なんて払えるあてもないので、誘拐された娘と国を捨ててここへ逃げてきたのよ」
イドリブは、ホームスと並ぶ最激戦地の1つ。13名の女子大生はレイプされたのかもしれない。戦争とレイプ、ドラッグはつきものだ。

突然、デモの群衆に戦車砲が撃ち込まれ

トリポリからシリア国境までは車で1時間ほど。シリアとの国境には川が流れ、溪谷になっていた。レバノンの町ハルバー側の山からシリア側の山を撮影。山裾に白い家とモスクが見える。あちらはシリアのタッカーという町。川底にシリア軍の検問所。あの検問所から、白い道が真っすぐタッカーの方向に伸びている。民家の陰に隠れて、検問所を撮影していることがバレたら、撃つてくる。スナイパーはゴルゴ13級の腕前なのか、武器の性能が発達したからか、ジャーナリストも撃たれて亡くなっている。「さっさと撮影しろよ」。通訳のモハンマドが注意する。
無事、国境を撮影した後、避難民一時滞在所へ。ここにも拷問を受けた人が多数。
匿名を条件に取材に応じてくれる。



2ℓのペプシを飲まされ、ペニスをひもでしばられた



捕まえたデモ参加者の身体に乗って記念撮影するシリア兵(シリア兵士が映像を売り、それがYOU TUBEに流れている)

膀胱がおかしくなりました。おしっこは垂

れ流し状態です。おむつをしていて。そして男性としての機能も奪われてしまった。

無事、国境を撮影した後、避難民一時滞在所へ。ここにも拷問を受けた人が多数。